



YANMAR

News Release

2025 年 4 月 4 日
ヤンマーホールディングス株式会社

「bauma 2025(国際建設機械見本市)」出展



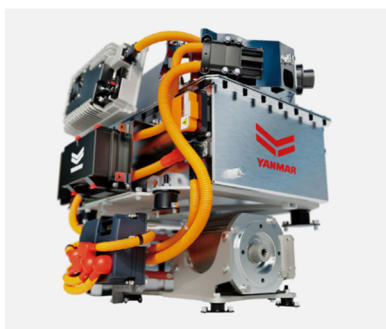
<ヤンマーブース イメージ>

ヤンマーホールディングスのグループ会社であるヤンマーパワーテクノロジー株式会社は、2025 年 4 月 7 日(月)からドイツ・ミュンヘンで開催される「bauma 2025(国際建設機械見本市)」に出展します。

今回の展示会では「ENERGY DIVERSITY, YOUR SOLUTION PARTNER」をテーマに、e-Powertrain システム(電動パワートレイン)を発表し、産業用水素エンジンのコンセプトモデルも公開するなど、産業用機械の脱炭素化をサポートする包括的なソリューションを提案します。

■展示内容

・YANMAR e-Powertrain



会場ではホイールローダーのモックアップに搭載された e-Powertrain を展示します。お客様の多様なニーズに対応し、計画から製造、品質保証、アフターセールスまで、一貫したサポートを提供します。

・高エネルギー密度バッテリーパック



リチウムイオン技術を採用し、コスト効率を重視した標準パックです。クラス最高レベルの高いエネルギー密度を誇り、柔軟な電圧と容量の構成が可能なデザインが特徴です。

・カスタムバッテリーパック



高エネルギー密度バッテリーパック同様にリチウムイオン技術を採用し、お客様の特定のニーズに応じて、最適なソリューション提供が可能です。電圧、容量、形状、取り付けオプションなど、柔軟な選択肢を提供します。

・産業用水素エンジン



産業用水素エンジンのコンセプトモデルを公開します。ベースでは、最新のディーゼルエンジン「4TN101」（排気量 3.8 リットル）をベースにした水素エンジン仕様及び YDG5500（排気量 0.4 リットル）をベースにした水素エンジン発電機を展示します。既存のエンジン設計を大きく変えることなく、水素燃料に適応することができます。

・クリーンガスエンジン：4TN88G



4TN88G は、産業用機械向けに開発され、低燃費・高信頼性・コンパクト設計を実現しました。従来のガスエンジンと比較し、4TN88G ではエンジン全体をコンパクトに設計。ディーゼルエンジンとの互換性を維持しながら、より効率的な燃焼を実現しています。また、ガス燃料の特性を活かし、CO₂排出量を抑えつつ、長時間の安定稼働が可能な仕様となっています。

■「bauma2025」開催概要

名称： bauma 2025（国際建設機械展見本市）

会期： 2025年4月7日（月）～13日（日）

会場： Messe München（メッセミュンヘン）、ホール A-4 425

bauma2025 出展詳細ページ：<https://www.yanmar.com/jp/engine/bauma2025/>

<ヤンマーについて>

1912年に大阪で創業したヤンマーは、1933年に世界で初めてディーゼルエンジンの小型実用化に成功した産業機械メーカーです。「大地」「海」「都市」のフィールドで、エンジンなどのパワートレインを軸に、アグリ、建機、マリン、エネルギーシステムなどの事業をグローバルに展開。環境負荷フリー・GHGフリーの企業を目指し、顧客価値を創造するソリューションを提供しています。未来を育むヤンマーの価値観「HANASAKA」を基盤に、ブランドステートメントとして掲げる“A SUSTAINABLE FUTURE”を実現します。

詳しくは、ヤンマーのウェブサイト <https://www.yanmar.com/jp/about/>をご覧ください。

<注記>

記載内容は本リリース発表時点のものです。最新の情報とは内容が異なっている場合がありますのでご了承ください。

【報道関係者お問い合わせ先】

ヤンマーホールディングス株式会社

マーケティング部 コミュニケーション部

広報担当

E-mail: koho@yanmar.com